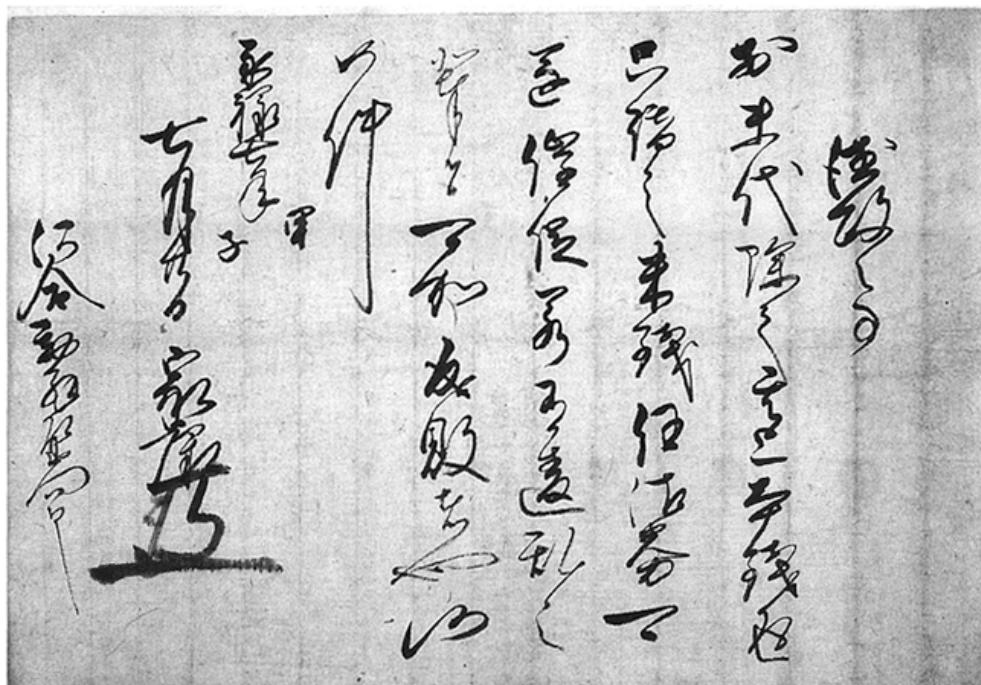


愛知の博物館

No.56



とくせいのこと

徳政之事 德川家康筆 縦30.9cm 横45.0cm 永禄7年(1564年)
美和町指定文化財(第1号) 美和町歴史民俗資料館蔵

永禄三年桶狭間の戦で今川義元が信長に討れると、義元の人質になっていた家康は、先祖伝来の領地である岡崎城に帰り信長と同盟を結び、付近一帯を治めるが、一向宗の勢力が強く永禄六年には遂に一揆に発展し家康を悩ませた。困った家康は永禄七年、その対策として「徳政令」を出し、「借りている金品は返さなくてもよい。」ということにした。

この書面は永禄七年に松平家の代官職として活躍した河合勘解由左衛門尉に対して
「貴殿は例外で子々孫々、徳政の事を免除する。貸した米や金は沽券(証文)通り催足を
しなさい。もしも違反者が有ったならば処罰してもよい。」
という意味の証文である。

徳川家康自筆の遺墨は多数あるが、徳政令に関するこの種の文書は数少ない。又、同内容の文書が多少他にも渡されていると考えられる。

尚、当資料館2階常設展示室にて、その写しを展示しています。

(美和町歴史民俗資料館 学芸員 近藤 博)

目 次

- 平成4年度愛知県博物館協会総会報告 2
- 平成4年度東海地区博物館連絡協議会総会に出席して 4
- 新規加盟館紹介 5

平成 4 年度

愛知県博物館協会総会報告

平成 4 年度愛知県博物館協会の総会が、5月22日(金)名古屋市東区主税町の「ちからまち会館」で開催され、参加館48館、73人の出席がありました。以下総会の概略を報告します。

1. 会長挨拶…亀井誠治氏（愛知県陶磁資料館館長）
2. 来賓挨拶…島田 利氏（愛知県教育委員会文化財課長）



3. 表 彰…東海銀行貨幣資料館調査役 工藤洋久氏
日本モンキーセンター主任 小林秀重氏
博物館明治村主任 平岡秀夫氏
博物館明治村係長 宇野光男氏
以上功労賞
前愛知県博物館協会事務局 原 誠氏
感謝状

4. 新規加盟館紹介

- 弥富町歴史民俗資料館
豊田市民芸館・陶芸資料館
一宮町歴史民俗資料館

5. 議事(座長 愛知県陶磁資料館館長 亀井誠治氏)

(1) 平成 3 年度事業報告及び決算報告について

(1) 研修会の実施

(A) 愛知県博物館等職員研修会

平成 3 年 9 月 5 日～6 日 岡崎勤労福祉会館

(B) 歴史民俗部門研修会

平成 4 年 1 月 22 日 名古屋市博物館

(C) 自然科学部門研修会

平成 4 年 2 月 14 日 名古屋市科学館

(D) 美術部門研修会

平成 4 年 2 月 28 日 昭和美術館

(E) 東海地区博物館連絡協議会平成 3 年度総会参加

平成 3 年 6 月 13 日～14 日 岐阜県岐阜市

(F) 第16回東海三県博物館協会交流研修会

平成 3 年 10 月 17 日～18 日 岐阜県恵那市

(=) 表彰の実施

功労賞 4 名 (氏名略)

(+) 印刷物の作成配布

(A) 「おでかけガイドー愛知の博物館」の発行

(B) 「東西南北」の発行、No.180～183

(C) 協会報「愛知の博物館」の発行、No.53～55

(-) 会議

(A) 総会 1 回、(B) 理事会 1 回、(C) 実行委員会 12 回

(D) 30 周年記念事業検討チーム検討会 6 回

(E) 平成 3 年度新規加盟館の報告、3 館 (館名略)

(F) 平成 3 年度収支報告 (監査報告 昭和美術館)

以上説明の後、審議されいずれも承認されました。

(2) 役員改選について

別表の如く任期満了に伴い役員改選の提案 (理事 1 名増員) と説明がされ、審議の後、案通り承認されました。

(3) 平成 4 年度事業計画及び予算について

(1) 事業

(A) 愛知県博物館等職員研修会

愛知県教育委員会と共に、博物館関係施設に勤務する職員を対象として行う。

◎期日 平成 4 年 9 月 3 日(木)～4 日(金)

◎会場 半田市

(B) 部門別研修会

美術部門、歴史民俗部門、自然科学部門

◎期日・会場未定。

(C) 平成 4 年度東海地区博物館連絡協議会総会

◎期日 平成 4 年 6 月 11 日(木)～12 日(金)

◎会場 静岡県静岡市

(D) 第17回東海三県博物館協会交流研修会

◎期日 平成 4 年 11 月 26 日(木)～27 日(金)

◎会場 三重県鳥羽市

(E) 表彰 (前記、3. のとおり)

(F) 印刷物の発行・配布

協会報「愛知の博物館」、「東西南北」、「おでかけガイド」、ガイドブック「愛知の博物館」、ガイドマップ「あいちの博物館みてあるき」

(-) 会議

総会 1 回、理事会 2 回、実行委員会 12 回、30

周年記念事業検討会議

(-) 平成 4 年度予算 (案)

以上説明の後、審議されいずれも承認されました。

(4) 愛知県博物館協会設立 30 周年記念事業について

平成 3 年度中の検討内容について事務局より報告、次いで記念事業を平成 6 年度に実施することが提案され、質疑応答の後、承認されました。

(文責 愛博協事務局)

総会議事終了後、企業の文化活動支援（メセナ）を研究・情報交換する団体として、去る平成4年4月東海地区で初めて発足した「東海メセナ研究会」事務局長増田一晴氏を講師に、「愛知県におけるメセナの現状と課題」をテーマとした講演会が開催された。以下講演の要旨をまとめてみた。

メセナの概念は明確になっていないところもあるが、その意味するものは、企業による社会貢献活動の一環として見返りを求める文化支援をすることにより、芸術・文化を擁護し育成することであり、ここにメセナの今日的意義がある。また、企業だけでなく私たち自身の文化生活のありかたにも少なからず重要な意義を有している。

メセナと他を区別する点は、文化の創造者・享受者にメリットがあり、かつ無名・マイナー・コンテンポラリーな作り手をも対象としているかどうかである。

手法としても資金提供だけでなく、資材・空間の提供や人材・経営ノウハウの提供など企業の持つさまざまな資産を提供し役立てることが考えられる。

企業メセナ活動の現状として、現在は冠イベントなど消費型イベント、ハコづくりが中心であるが、ソフト育成の方向が大切であろう。演劇の振興をねらう兵庫県がまず演劇学校などによる人材づくりに力を入れているなどの事例がある。

メセナ導入プロセスでの課題は長期継続的投資の体制、支援対象の企画の明確化、社内コンセンサス、運営体制の確立などである。

世界の生産基地としての愛知県でのメセナの実態はなかなか明らかではなく東海メセナ研究会による調査を秋にはまとめよう準備している。メセナとしてはまだまだ啓蒙段階にとどまっているが、メセナ大賞の受賞企業として愛知県では、まずトヨタ自動車がある。クラシック音楽分野ではコミュニティーコンサートや青少年ミュージックキャンプを開催し、またトヨタ博物館の活動も知られている。フローとしての文化消費であるか、ストックとしてのソフト育成であるかにはこだわってはいない。同じく受賞したINAXやほかにもすでに企業による文化事業の実績はある。

メセナの課題としてはまず税制問題があり、文化優遇税制の立法化が望まれる。また、企業のサイズにあわせたメセナへの取り組みという点では岡山の林原グループや大垣の未来工業などの姿勢に学ぶところがある。

なお、バブルの崩壊はかえって本来のメセナにはよい淘汰となろう。

今後の展望として、世界的に普遍な文化、愛知県が世界に誇れる地域文化の形成を提案したい。これには

自ら文化を楽しむ心の余裕が必要である。

以上が講演要旨である。感想として付け加えれば、ソフトの内容が吟味できる人材や文化を享受する人・できる人を育てることが当地におけるメセナの一番の問題ではないだろうか。それにより、メセナの結果としての文化財産の結実という見返りを期待できるのである。

（文責 博物館明治村 学芸課長 松川敏明）

愛知県博物館協会新役員名簿

平成4・5年度

役職名	館（園）名	代表者名	備考
理事	愛知県陶磁資料館	館長 亀井誠治	会長
〃	熱田神宮宝物館	館長 岡地幸雄	副会長
〃	一宮市博物館	館長 小川守	
〃	岡崎市郷土館	館長 板倉幸治	
〃	知立市歴史民俗資料館	館長 羽佐田銀弘	
〃	でんきの科学館	館長 寺沢安正	
〃	東海市平洲記念館	館長 吉川允夫	
〃	徳川美術館	館長 徳川義宣	
〃	豊橋市自然史博物館	館長 高須温	
〃	名古屋市科学館	館長 岡田博	
〃	名古屋市博物館	館長 清水武	
〃	日本モンキーセンター	館長 河合雅雄	
〃	博物館明治村	館長 村松貞次郎	
〃	鳳来寺山自然科学博物館	館長 松井保	
監事	愛知県文化会館美術館	館長 浅野徹	
〃	昭和美術館	館長 柳沢幸輝	

役員改選に伴う実行委員名簿

平成4・5年度

館（園）名	委員氏名	備考
愛知県陶磁資料館	浅田員由	(会長館)
熱田神宮宝物館	武田定雄	(副会長館)
一宮市博物館	毛受英彦	(理事館)
岡崎市郷土館	鈴木智子	(〃)
知立市歴史民俗資料館	岡本茂史	(〃)
でんきの科学館	土井孝夫	(〃)
東海市平洲記念館	立松彰	(〃)
徳川美術館	小池富雄	(〃)
豊橋市自然史博物館	家田健吾	(〃)
名古屋市科学館	三輪克	(〃)
名古屋市博物館	種田祐司	(〃)
日本モンキーセンター	水野礼子	(〃)
博物館明治村	中野裕子	(〃)
鳳来寺山自然科学博物館	加藤貞亨	(〃)
愛知県文化会館美術館	木本文平	(監事館)
昭和美術館	服部昭義	(〃)

愛知県博物館協会事務局

愛知県陶磁資料館	山田敬二	管理部長
〃	夏目勉	庶務課長
〃	柴原知幸	庶務課長補佐
〃	浅埜勲	庶務課主査
〃	市川令子	庶務課嘱託

平成 4 年度
東海地区博物館
連絡協議会に出席して
愛知県陶磁資料館 主任学芸員 浅田員由

先回の静岡の時（6年前）には出席できなかったため、期待するところも多い、今回の東海博であった。小雨の中、会場に到着し、受付を済ませると、引き換えに渡された資料の重さにびっくりした。中味は、羊羹、饅頭、あべ川餅、新茶、わさび漬といった、静岡名産の数々。おもわずニッコリ。（これで土産代が助かった）しかし、静岡県博協の松浦会長から、次回（愛知県のことである）に大いに期待している、と総会の冒頭に挨拶されでは、その重さが余計胸にこたえるというものである。さて、我愛博協は、果してどんなお土産がつけられるやら。

しかし、久し振りに聞く松浦節は、相変わらず音吐朗々、なお御壯健で何よりでした。相変わらずといえば、来賓の毛利専務理事も、いつに変らぬ話しぶりの、分かるような分らぬような要領を得ぬ内容は、さすが日博協を背負って立つ人は、一味ちがいます。

さて、今回のご挨拶の白眉は、静岡市長でした。静岡市を愛する心情は、深く聞く者を打ち、会場もやや微苦笑。日本一の登呂遺跡から、明治薩長政府への反



発までの文化論、他人事ながら周辺関係者の御苦労が眼に浮かぶようでした。

表彰、議事、型どおり無事進行。とどこおりなく時間内に終了。こんなものか、こんなものだよ。さて、つづいて講演会は、静大助教授馬居政幸氏による「生涯学習社会における博物館・美術館のありかた」。講演会慣れした演者も、各博物館の館長クラスを前にして、シラケ気味。それでも、おかしくもないギャグを散りばめて、なんとかペースを取りもどそうと健斗しているのは、日頃、無関心な学生を相手にしている学校の先生ならではと拍手。内容は、まあ教育実習生相手向



きといったところか。正論といえば正論。ただしきわめて一面的ではある。つまり、博物館の持つ多様性を、意識的にか学校教育面においてのみ限定しようとしているところである。一つ二つ、意地の悪い質問をしようかと思案しているうちに、岐阜県博協の、これも有名な吉田幸平氏が、馬鹿にしたように、講演内容と無関係な鋭い質問を浴びせた。馬居先生もこれにはびっくり。声を荒げて応答。まさに博物館は、あらゆる要素を包みこんだ伏魔殿なのである。馬居氏一席ぶって「これで答えになっているでしょうか。」なに、吉田先生若僧の答なんぞ期待しているものか。小利口そうな助教授を、ちょっとからかっただけ。

そして懇親会。引き続きテーブルの酒、料理を部屋に持ちこんでの二次会。延べ30人くらいか。しかし最近は盛り上りに欠ける。それでも酒の追加。静岡の夜はまだ宵。翌朝、この追加料金が、好意か手違いか、静岡県博協によって支払われてしまった。おっとりした県民性がよくあらわれていて勉強になります。お土産に始まり只酒に終った、東海博の顛末でした。

平成 4 年度東海地区博物館連絡協議会役員

(任期 2 年：平成 4 ・ 5 年度)

役職名	協会名	館名	職氏名
理 事	愛知県博物館協会	徳川美術館 名古屋市科学館 愛知県陶磁資料館	館長 徳川 義宣 館長 岡田 博 館長 亀井 誠治
	山梨県博物館協会	山梨県立美術館 信玄公宝物館 富士博物館	館長 濱田 隆 館長 野沢公次郎 館長 井出 常済
	神奈川県博物館協会	神奈川県立博物館 横浜市立野毛山動物園 川崎市立日本民家園	館長 村上 治 園長 池田 隆一 園長 小野 吾
	岐阜県博物館協会	岐阜県博物館 内藤記念くすり博物館 飛騨民俗村管理事務所	館長 篠田 幸男 顧問 青木 尤夫 所長 竹腰 覚
	静岡県博物館協会	久能山東照宮博物館 東海大学海洋科学博物館 浜松市博物館	館長 松浦 國男 館長 小坂 昌也 館長 向坂 鋼二
監 事	静岡県博物館協会 愛知県博物館協会	駿府博物館 名古屋市博物館	館長 今井 清隆 館長 清水 武

東海地区博物館連絡 協議会総会に参加して

熱田神宮宝物館 宝物係長 大原和生

6月11・12日に静岡県で開催された総会での講演会「生涯学習社会における博物館・美術館のありかた」(静岡大学教育学部助教授馬居政幸氏)を拝聴し、久々に人間のエゴについて考えさせられた。

「生涯教育」という用語が提唱され、20年の歳月が経つ今日、教わる側のニーズに重きを置く考え方から、「生涯教育」は「生涯学習」という用語に変移したという。以下、ピントズレしているかも知れないが、浅見な体験感想を自由に二点、思うままに述べてみる。

昨今、博物館実習生の数が増している。多人数の前で話をしている時は、思いの外に私語に気付くものである。特に100名以上に講義をしていると、私語を交わす学生は気になる。講義に対する有型の批評かと思えば、自業自得と認めざるを得ないが、私語が有型の限度を超えてることに気が付くと、気が滅入る。面白い事に、私語の元凶は男子ではなく女子が多い。実習生の割合が多くなった女子にその傾向が強くなってしまっても、何の不思議もない。“物静かな”、“ひかえめな”という語は死語であろう。自由に飛び跳ねるには、これらの言葉は足かせ、手かせのようであるかも知れない。

また、文化財を取り扱う技や展示の技は、学校や職場で手取り足取り教わるものではなく、諸先輩の所作を見て、盗め!というのが鉄則であった。仮りに個々の文化財の時代背景・特色及び展示術そのものは教えられたとしても、それは本当の文化財取り扱い術にはならない。問題は術の心である。しかし、これは教わるのではなく、自ら会得するものだというのが、今も一貫している術の精神と思われる。

文化財を取り扱うようになって2~3年の頃、私は借用で先輩と同行する機会を得た。先輩は、軸の調書取りの役を私に与えてくれた。するといきなり先輩は、所有者が立ち会っている所で「次に借用（異なった所有者）する刀剣の法量・特色は」といった。もちろん現況では即答出来ず、あわてる私に「君は一つの事しか頭がないのか、不用意である」といって、先輩は他の梱包を続けた。冷汗びっしょりで調書を取り終えた事はいうまでもない。早速借用品について調べ、必要と思われる特色のすべてを書き取り、翌日から、これを大切に持ち借用に出た。しかし、先輩はそれっきり「次の借用品は」とはいわなかった。そして、展覧会オープン後、改めて先輩は私を呼び、返還時の必需品は何かといって、机の上に資料、諸用具を並べさせ点

検をしたあと、「よしよし、貴重な文化財を借用した以上その心掛けが大切だ」と、初めて賞めの言葉を得た。今思えばこれが術の心なのだと感ずる。甘えては決して術は身につかない。突き放される事も必要である。

「生涯学習」の趣旨は反対のしようもない美辞だが、20年の間に生涯教育から生涯学習へと転換した、この意識改革は、同一次元内ではたして可能であろうか。教える側と習う側の意識に、過剰なまでの不自然な情態がある限り不可能な気がするが。要は学校での集団の躰、家庭での個々の躰を礎にし、社会で自らの意見が主張出来、相手の立場が理解し得、物の本質を判断出来る見識を育成しなければ“絵にかいたもち”的な気がするが、はてさて厄介な昨今である。

(講演概要については、総会資料を参照願いたい。)

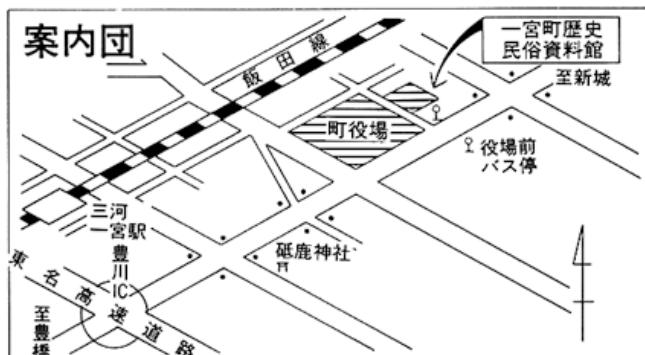
新規加盟店紹介

平成3年度に当協会へ加盟されました館の概要を、ここに紹介します。

一宮町歴史民俗資料館

所在地	〒441-12 宝飯郡一宮町一宮豊70番地
電話	(05339) 3-3013
交 通	JR飯田線三河一宮駅より徒歩15分 東名高速豊川インターより車で5分
沿革	一宮町は古墳を中心に遺跡の豊富な地域であり、出土品も多い。また町内の小学校には失われていく民俗資料が収集されていたが、この双方を集め、昭和49年に旧庁舎を利用し、一宮町郷土資料館として開館したのが本館の前身である。昭和59年11月、この郷土資料館の取り壊しに伴い、場所を移して新たに歴史民俗資料館として開館した。
施 設	敷地面積720m ² 鉄筋コンクリート2階建 延面積 520m ² 展示室1. 71m ² 展示室2. 200m ²
開 館	9:00~16:00 休館日 月・水・金曜日、年末年始
入館料	無料
特 色	1階展示室には豊富な遺跡からの出土品が、年代順に展示されているが、なかでも注目されるのは、荒々しい条痕が特徴の「水神平式土器」や均整のとれた美しさを持つ須恵器「鳥鈿蓋付脚付壺」、さらに愛知県指定の文化財である「海獸葡萄鏡」である。2階展示室には

民俗資料を展示している。豊川と天竜川の流域のみにみられる「釜屋式建物」の一部が館内に移築復元されており、入館者の興味をひいている。また現在では少なくなった養蚕関係の資料も豊富である。



お知らせ

1. 表紙絵募集について

当協会では、協会報「愛知の博物館」(当紙)の表紙絵を募集しています。当協会加盟館(園)の内で、収蔵品や展示概況、館の外観など特徴あるものの掲載の希望がありましたらご応募下さい。

- ①資格は当協会加盟館(園)に限ります。
- ②写真一枚(サービス版以上)
- ③タイトルとその説明文(250字前後)を付して下さい。(文責者名も明記)
- ④応募先及び問い合わせは熱田神宮宝物館武田定雄まで。
- ⑤選定は実行委員会で行います。
- ⑥発表は掲載に替えます。

2. 愛知県博物館等職員研修会開催について

平成4年度愛知県博物館等職員研修会を下記の如く開催致します。加盟館(園)各位の奮ってのご参加をお願いします。詳細は各館(園)宛に通知致します。

1. とき 平成4年9月3日(木)・4日(金)

2. ところ 半田勤労福祉会館

3. 内容

(1)第1日目(9月3日・木)

13:00~13:30 受付

13:40~17:00 研修会1部・研究協議

*テーマ「地域と博物館」

*<事例発表>

窯のある広場資料館 館長 神谷秀雄氏

常滑市民俗資料館 学芸員 中野晴久氏

鳳来寺山自然科学博物館館長 松井保氏

美和町歴史民俗資料館 学芸員 鎌倉崇志氏

17:00~18:00 休憩

18:00~19:30 研修会2部・懇親会

[宿泊]

(2)第2日目(9月4日・金)

7:45 朝食

9:00 半田勤労福祉会館発

9:45~10:45 「南知多ビーチランド」見学

10:45 移動

11:00~12:00 「財団法人杉本美術館」見学

12:00~12:45 昼食「渚亭」

13:00 解散・名鉄「美浜緑苑駅」

13:45 解散・名鉄「知多半田駅」

14:00 解散・JR「半田駅」

14:05 解散・半田勤労福祉会館

「愛知の博物館」No.56

発行日 平成4年7月22日

編集・発行 愛知県博物館協会

〒489 愛知県瀬戸市南山口町234番地

愛知県陶磁資料館内

TEL <0561> 84-7474

FAX <0561> 84-4932